

I 類

土木造園(造園)専門問題

令和7年度施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は、〔問題1〕から〔問題6〕まで6題あり、このうち4題を任意に選択して解答してください。4題を超えて解答した場合は、〔問題1〕以降解答数が4に達したところで採点を終了し、4を超えた分については採点しないので、注意してください。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間30分です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題集を切り取ることは固く禁じます。
- 6 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

〔土木造園(造園) 問題 1〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①、②は、日本の造園書に関する記述であるが、文中の空所 A～E に該当する語を下の語群から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① A 時代には、日本最古の造園書である B が書かれた。この書は、寝殿造り庭園の思想や技術を集大成したもので、著者は C とされている。
- ② D 時代には、庭園が大衆化され、それまでの庭園技術を集大成した E が刊行された。この書には、北村援琴による著と秋里籬島による著がある。

<語群>

ア 江戸	イ 作庭記	ウ 図解庭造法	エ 橘俊綱
オ 築山庭造伝	カ 奈良	キ 平安	ク 路子工
ケ 都林泉名勝図会	コ 室町		

(2) 国立公園に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 次の文は、国立公園の歴史に関する記述であるが、文中の空所 A～C に該当する語を解答欄に記入せよ。

アメリカの A 国立公園は、1872年にロッキー山脈に設置された世界最初の国立公園である。

日本の国立公園は、1931年（昭和6年）の国立公園法の制定が始まりで、1934年（昭和9年）3月に B、雲仙、霧島が最初の国立公園に指定された。その後、1957年（昭和32年）に C 法が制定され、現在の体系が確立した。

- ② 日本及びアメリカの国立公園制度について、それぞれ説明せよ。

〔土木造園(造園) 問題 2〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の①～③は、公園の設計に関する記述であるが、文中の空所 A～D に該当する語を解答欄に記入せよ。

- ① A とは、公園の計画で、用途によって敷地を割り振り区画することである。
- ② 機能計画とは、運動などの B 的なレクリエーション機能、散策などの C 的なレクリエーション機能、快適性・安全性をもたせる機能などを計画することである。
- ③ D 計画とは、人・車などの動きの軌跡、形態、行動を想定し、その動きの量や方向などを計画することである。

(2) 緑地に関する次の①、②について説明せよ。

- ① 存在効果
- ② 利用効果

(3) 道路緑化の機能を 3 つ挙げよ。

〔土木造園(造園) 問題3〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 公園や庭園に植栽される樹木に関する次の問①、②に答えよ。

① 次の文中の空所A及びBに該当する樹木を解答欄に記入せよ。

A は、アカネ科の常緑低木であり、葉は対生または3輪生する。花は6～7月に、強い芳香がある白い花を枝先に1個ずつつける。

B は、ミズキ科の落葉高木であり、葉の縁は全縁で波打っている。花は6～7月に、頭状花序を出し、白い花卉のように見えるのは4個の総苞片である。

② ユリノキの葉を、形や葉脈に配慮して解答欄に描け。

(2) 地被植物の植栽の目的を5つ挙げよ。

〔土木造園(造園) 問題 4〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①～③は、施肥に関する記述であるが、文中の空所 A～C に該当する語を下の語群から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① A とは、植物の生育に必要とされる年間養分を種まきや植え付け前の12～2月頃に、緩効性や遅効性肥料を施すことである。
- ② B とは、生育中の養分の不足を補うため生育期間中の6～9月頃に、早効性肥料を施すことである。
- ③ C とは、開花・結実後に肥料を施すことである。

<語群>

ア 追肥 イ お礼肥 ウ 茎幹肥 エ 壺肥 オ 待ち肥 カ 基肥

(2) 次の無機質系土壌改良資材①～③について、原料及び効果をそれぞれ述べよ。

- ① パーライト
- ② バーミキュライト
- ③ ゼオライト

〔土木造園(造園) 問題 5〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①～③は、個体群と生物群集に関する記述であるが、文中の空所 A～D に該当する語を解答欄に記入せよ。

- ① 生物が生活している場所を といい、より微小な生息地をミクロ という。
- ② ある種が単独で存在するときのニッチを ニッチといい、他種との競争によって変化したニッチを ニッチという。
- ③ 種間競争によって、一方の種が他方の種を駆逐することを という。

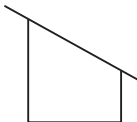
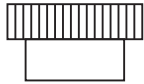
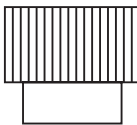
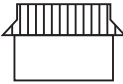
(2) 生物多様性に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 野生生物のレッドリスト及びレッドデータブックについて、それぞれ説明せよ。
- ② 環境省のレッドリストカテゴリーを 3 つ挙げよ。

〔土木造園(造園) 問題 6〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の図①～③は、建築物をア、イの2方向から見た場合の屋根の形状(模式図)であるが、それぞれに該当する屋根の名称を下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

	ア → 建築物 ↑ イ		
	①	②	③
ア			
イ			

<語群>

- A 入母屋屋根 B 片流れ屋根 C 切妻屋根
D 越屋根 E 方形屋根 F 寄棟屋根

- (2) 次の石材①～③について、岩石名及び産地をそれぞれ挙げよ。

- ① 大谷石
② 鉄平石
③ 本御影

- (3) 次の図は、水準測量を行った結果を示したものであるが、図中の測点Aの地盤高が4.17 mであるとき、測点C及びEの地盤高を求めよ。

